

KEY TOPIC

新取締役挨拶 ~VC事業が果たす役割~

『地域みっちゃく生活情報誌』

5,000万部必達への決意

6月23日の第45回定時株主総会において、執行役員VC事業部長の池戸武志が新しく取締役に就任いたしました。2019年に当グループの執行役員に就任以来、『地域みっちゃく生活情報誌』の発行部数増に尽力してまいりました。この度の取締役就任にあたり、VC事業の展開を中心に5,000万部発行への決意を語ります。

全国ネットワークを一層強化  
同じ志をもつ仲間と共にまい進

この度、当社の取締役を拝命いたしました。このような大役を仰せつかるには、誠に微力ではありますが、皆様方のご協力を仰ぎながら、日本を元気にする『地域みっちゃく生活情報誌』のVC事業発展に寄与する所存であります。

VC事業は加盟社がそれぞれの独自性を保ちながら『地域みっちゃく生活情報誌』を発行し、地域への貢献と共にフリーメディア発行網を形成するプロジェクトです。2012年にスタートし、毎年、全国のVC加盟社が一堂に会する「全国VCサミット」を開催。今年9月で記念すべき10回目を迎えます。

VC加盟誌は現在50誌、4,611,270部を発行しています。中広独自に開発した「プリモ」アプリや「C-Brain」などのDXツールを活用し、全国の「ハッピーメディア」の成功事例を共有するなど、VC加盟には多くのメリットがあります。双方の広告出稿の活性化にも、この全国ネットワークが力を発揮しています。私が代表取締役を務める株式会社ケイ・クリエイトもVC加盟社であり、同じく代表を務める株式会社ケイビーエスは配布を担っています。私自身、加盟各社

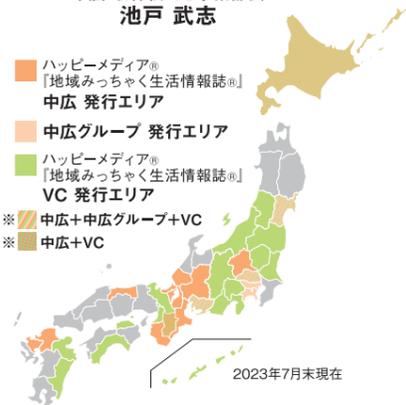
と課題解決に取り組んでまいりました。

北は北海道から、南は沖縄県宮古島市まで広がるVCネットワークですが、東北、九州など、まだまだ空白エリアが存在します。VC事業を広く知っていただくため、今期は新規加盟を促進するウェブサイトの開設を予定しています。また、地域で情報誌を発行する全国の各社へ呼びかけ、「地域を元気にする」という志を有する仲間の新規加盟を増やすことで、本事業の拡大に向け努力してまいります。

当社の大きな目標である『地域みっちゃく生活情報誌』総発行部数5,000万部到達の一翼を担うVC事業。その足掛かりとして、今期、総発行部数2,000万部を目指してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



中広 取締役 VC事業部長  
池戸 武志



VC事業部より

VC(ボランティアチェーン)は『地域みっちゃく生活情報誌』を、独自性をもって各地で発行中。今期は当社からのVC加盟社への訪問機会が増えています。新規VC加盟社増加への取り組みはもちろん、既存VC加盟社が安心して2誌目、3誌目を創刊できる環境を整え、きめ細かなサポートを目指します。

VC加盟社の声

有限会社 ビーズ・アソシエイト  
月刊あづま〜る  
代表取締役 青木道春さん



「困ったときは、『地域活性化のため』としっかり伝えてください」と、創刊当初、VC事業部長であった森執行役員が、何度も山形まで来て指導くださいました。あわせて温かい励ましをいただき、心から感謝しています。準備期間も含め無我夢中の8年でした。「林訥(ぼくとつ)」と、あたりまえのことを一生懸命に」。これからの『月刊あづま〜る』が地域活性化の一助を担う情報誌であり続けられるようまい進します。

エリア・マークス株式会社  
月刊すかっと・月刊こみっと  
代表取締役 佐藤賢二さん



加盟して早7年、『すかっと』は通算88号、『こみっと』は10号となりました。私自身、広告の仕事に長年携わり、媒体を持つ魅力と可能性に期待し立ち上げました。しばらくは苦労の連続でしたが、地域の生活者のためになる情報と読みやすい誌面作りにより地道に注力したこと、今では多くの読者に「わがまちの情報誌」と認めていただけるようになりました。今後も影響力ある媒体であるよう努力し続けます。

株式会社関西ばど  
ばど京阪北版・京阪南版 他  
代表取締役 富岡紀幸さん



加盟により毎月の配信やC-BrainVC2システムを通じて、現場の実践的ノウハウや効果的な企画・広告の情報共有ができます。これによって、より効率的な営業企画や戦略の構築が可能になりました。また、VCサミットやあらゆる機会、同業各社と交流しています。活発に情報交換ができ、会社や営業スタッフの立ち位置を認識でき、客観的視点で課題を明確にできるのもVC加盟の大きなメリットと感じています。

COLUMN

覚悟をすれば風が吹く

仁を為すは己れに由る。而して人に由らんや

暑中お見舞い申し上げます。  
熱中症、夏バテに注意。  
健康管理を怠らず、ご自愛ください。

7四半期ぶり  
名付けて「令和景気」

4月、植田和男氏が日銀総裁に就きました。学者出身は戦後初です。今後の運営が注目され、私も興味をもって見守っています。7月3日、日銀は6月の短観(全国企業短期経済観測調査)を発表しました。大企業の製造業・非製造業の景況感が7四半期ぶりに揃って改善しました。

7四半期とは2021年9月以来、1年9カ月ぶりです。主な理由は、基幹産業である自動車に半導体が供給され製造が正常化したことと、幅広い分野で原材料の価格転嫁が順調に進んでいることです。そして円安。株価は33年ぶり、バブル後の最高値を更新しています。政府の水準対策緩和により、インバウンドを含めた訪日外国人向けのビジネスに追い風が吹いています。慎重な日銀が景況感の回復を示したのですから、好況はどうかと本物のようです。

日本の天皇が即位して以来、例を見ない好景気という意味で名付けられた神武景気(1954~57年)の時には、いわゆる三種の神器(冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ)が売れに売れ景気を支えました。続く好景気は神武景気を上回り、「天照大神が天の岩戸に隠れて以来の好景気」とと岩戸景気(58年~61年)と名付けられ、池田内閣は国民所得倍増計画を打ち出しました。

そして五輪景気(62~64年)、いざなぎ景気(65~70年)を経て、狂乱のバブル景気(86~91年)を迎え、日本の地価は米国の4倍。株価が38,957円をつけました。その後バブル崩壊、低迷期に入り、限定的なIT景気(90年代~2000年)が起こりました。以来、失われた日本経済と言われ、日本に景気は戻ってきませんでした。

黒田前日銀総裁はデフレ脱却を掲げ金融緩和をし、安倍元首相は財政出動による景気回復を模索しましたが、成長経済に転換できないまま長期低迷が続きました。しかし、コロナ禍や世界情勢の変化などさまざまな要因があるなか、ここに来て一気に景気が動き出しました。それが6月の日銀短観に表れています。この夏、景況感が本物になるかどうかの重要な局面を迎えています。

重要な点は二つです。一つは今年の春闘で、大手企業の満額回答が続出したことです。まずは大企業からですが、賃金の増加傾向に入りました。日本の景気は個人消費が6割を支えています。政府は手を抜かず、最低賃金制を1,000円以上に引き上げ、下請法を改正・強化すれば、日本の企業の9割を占める下請企業の景気が改善されます。容易ではありませんが、中小零細企業も賃上げに舵を切らざるを得ません。そうすれば、GDP600兆円が見えてきます。

もう一つは大企業の設備投資。その象徴が半導体設備投資です。戦後日本のものづくりとは違う、新しい時代のものづくりが始まる兆しです。デフレ脱却の決め手である賃上げと設備投資が、着実に実施できればという条件付きですが、私は期待と覚悟を込めて「令和景気」と名付けています。



本当の覚悟が最強のチームを作る

全世界に示せ  
政治の覚悟

東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出計画に対して、IAEA(国際原子力機関)は国際的な安全基準に合致し、人や環境への影響は無視できる程度だと調査報告書を公表しました。IAEAは「核の番人」です。世界176カ国が加盟する国連の関係機関で、専門知識をもつ各国の職員2500名で構成されています。もちろんIAEAは絶対ではありませんから、信用できない人たちもいるでしょう。福島近郊の漁業者は不安を拭いきれないでしょう。

朝日新聞は福島漁民の声を聞けと訴え、毎日新聞は中国や韓国の反体制派や中国の息がかかった南洋諸島の国々に耳を傾けると示し、日経もいつになく厳しい態度で「お墨付き」で、すべてが解決済みにはならないと強調しています。たしかに、東電はIAEAの「お墨付き」が出たからといって、ひと安心などと思いをしはなりません。不信や風評被害を払うため、丁寧な説明を粘

り強くすべきであることに言を待ちません。

処理水の貯蔵槽を作り続けるのは、解決策が見つかるまでの一時的な処理方法だったはず。いずれは放出するしか道はありません。海が空か地か、はたまた宇宙か。その結果、人や環境に影響を与えたとしても、全世界に対して覚悟を示し、責任を取るのが日本の政治の覚悟ではないでしょうか。

甘さも妥協もない  
最強のチームワーク

「仁を為すは己れに由る。而して人に由らんや」。論語の一節です。仁を行うのは自分次第、どうして人頼みにできようか、そんな意味です。

アーティスティックスイミングの日本代表コーチ、井村雅代氏は「物事は結果がすべてである。結果を出すには乗り越えねばならない壁がある。人はその壁が乗り越えられるかどうかを試されている」と言います。壁に向かってチャレンジし、乗り越えるべく努力を重ね、そこに人生の楽しみがあるのではないかと。ときにして人は、結果を求めなくても良い、やるだけやったのだからと、考える人もいます。しかし、井村さんが代表選手たちに問います。「あなたは厚かまし過ぎないか。100回の練習で1度できたことを、試合でできると思っていないか。奇跡を願って試合に臨むのは厚かまし過ぎる限りだ」と。

また、絆についてもこう話します。「団体戦はチームワークが大切だと言われ、チームワークを絆と呼んでいる向きもあります。しかし、組織が強くなってチームが幸せになれるのは、皆が命懸けの覚悟をもって120%の努力するかどうか」だと。私もその通りだと納得します。甘さも妥協もまったくない、本当の覚悟が最強のチームを作り上げるのだと思います。

今年も7月初旬に線状降水帯が九州・中国地方で発生し、関西・東海、そして東北・秋田では記録的な大雨となりました。梅雨が明けて猛暑の日々です。世界各地で記録的な熱波に見舞われています。人間の力ではどうすることもできません。しかし、環境を整え身を守りつつ、壁を乗り越えるための努力を続けることはできます。

千載一遇、「令和景気」のチャンスを掴むためには、国民一人ひとりが属している地域社会や会社・団体・家庭などで、自らのもてる力を120%発揮する覚悟が必要だと思えます。覚悟をすれば風が吹く、その風は必ずあなたとあなたの周りの人々たちを幸せにします。

2023・長月・心頭滅却すれば火もまた涼し・二代目後藤繁次



## 間違い探しで魅力を発信！

名古屋市内で未就学児～小学校低学年を対象に発行している情報誌『キッズフリモ』のタイアップ記事として、太平洋フェリーの間違い探しを掲載致しました。

見本誌をクライアントに見ていただいた際に、「キッズフリモ」の間違い探しコーナーが「大人でも難しい」と評価いただき、数人で頭を突合せ間違い探しに熱中。「こんな間違い探しを太平洋フェリーでも作れたら」と、『キッズフリモ』とのタイアップが決定しました。試行錯誤しながらも夏らしく、にぎやかで遊びごたえのある記事が完成しました。発行したばかりではありますが、すでに資料請求の問い合わせも届いており、読者にもタイアップ記事を楽しんでいただいている様子。作り手の楽しむ姿勢が読者にも伝わっているのかなと感じています。今後も自ら楽しみ、広告主や読者など、かかわる人すべてが楽しめる誌面作りを心がけます。

(名古屋SP・鳥丸)



## 芸人「流れ星」とのタイアップ企画を実現

『高崎フリモ』7月号では、高崎市在住のシンガーソングライター・玉城ちはるさんに市内の名店をナビゲートいただく方法で、豚ホルモンの街・高崎のグルメを巻頭特集で取り上げました。取材調整中に、玉城さんと同じ事務所・浅井企画の流れ星の二人が同日に来県されることを知りました。そこで編集室では急遽、単独ライブの告知を兼ねたタイアップ企画を練り、誌面に登場してもらえよう交渉。同時に市内の焼き肉店にタイアップ企画を提案したところ、ご掲載いただけることとなりました。

浅井企画は9月の流れ星単独ライブの告知を誌面ででき、著名人が食レポすることで飲食店は注目度がアップ。読者にとっても見ごたえのある誌面となり、「三方よし」の企画を実現できました。流れ星の二人は、とっても気さくで取材メンバー全員がファンになりました！

(高崎フリモ編集室・結城)



## SNS運用の課題を情報誌が解決！

今やSNSの活用は店舗経営にとって欠かせないものとなりました。あらゆる企業や店舗がSNSを通して情報を発信しています。しかし、そのSNSの存在が知られていなければ、どれだけ毎日更新しても埋もれたまま。多くの情報が溢れるSNS上でユーザーに見つけてもらうのは困難なことです。『maika club』7月号では、そこに焦点を当てた「SNSをフォローして店情報を知ろう！」企画を実施。誌面はQRコードをメインに、あえて詳細情報は掲載していません。情報を求める読者がQRコードを読み込むように誘導しました。読者はQRコードを読み込めば店舗の最新情報を簡単に得ることができ、店舗は紙媒体とSNSの両ユーザーに訴求ができます。発行から1週間経たずでQRコードの平均読み取り回数は日に40回超と上々。「問い合わせが増えた」等、喜びの声をたくさんいただいております。『maika club』では店舗の課題解決ができるよう、今後も時代に沿った企画を立案・提案していきます。



(maika club編集室・宮川)

## 町民参加型の広報誌へリニューアル

愛知県愛知郡東郷町の広報誌リニューアルに関するプロポーザルに参加し、令和5年7月号より当社に制作をお任せいただくこととなりました。プロポーザルで提案したリニューアルのテーマは「自分ごと」。東郷町内で地域みっちゃく生活情報誌『Sun+Go club』を発行し続けてきた私たちのノウハウを生かし、町民目線での広報誌づくり・町民参加型の広報誌づくりを行うことで、一人ひとりが「我がまち東郷町」をより意識し、一層活気のあるまちづくりのきっかけとなる広報誌を目指します。

リニューアル初号の7月号特集ページのテーマである「プラスチック資源の分別回収」にちなみ迷路で分別を学べる表紙を作成しました。特集ページもわかりやすさを意識してお子さんでも読みやすいページ構成にしています。今後も毎月「楽しい」「わかりやすい」「役に立つ」広報誌づくりを行ってまいります。

(北知多フリモ編集室・松原)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です



## テレビ番組とYouTubeで誌面広告情報を発信

4年前から毎月、広告掲載して下さっている地元のケーブルテレビ「LCV」。一緒にテレビ番組を作ご提案をいただき、2023年4月からコラボレーション番組『てれびでぶらざ』をスタートしました。

LCV制作のキャラクターが、番組の中で15分間『月刊ぶらざ諏訪』に掲載されている広告等を取り上げてトークを展開し

ます。毎週金～日曜日にテレビで放送され、さらにYouTubeにも動画がアップされます。

11月号と12月号の忘新年会特集でもタグを組み、双方で広告を集めて『てれびでぶらざ』で1時間の特番ができるよう動き出したところです。地元メディアとの共働等を通じて、今後も地域に向けた情報発信に取り組んでまいります。



▲「LCVガイド」2023年4月号

## 第51回岐阜広告協会賞3作品入賞

当社が企画制作した広告が今年も入賞しました。フリーペーパー・雑誌広告部門で銀賞と銅賞、テレビCM部門で銅賞。当社クリエイティブが評価され光栄です。広告主にもお喜びいただきました。

### フリーペーパー・雑誌広告部門 銀賞 シーシーエヌ株式会社

会員向けの特典一覧冊子を作成しました。会員サポート情報に加え、岐阜県内のさまざまなエリアのお出かけスポット記事、お得なクーポンなどもたくさん掲載。会員が暮らしているエリアの外にも足をのばし、岐阜の美味しいもの、楽しい場所を巡ってもらえるよう、イラストを盛り込んだ楽しいデザインでまとめました。(岐阜SP・時岡)



### フリーペーパー・雑誌広告部門 銅賞 医療法人清光会 岐阜清流病院

情報誌3回掲載の初回誌面。手術支援ロボット「ROSA(ロザ)kneeシステム」を用いた膝治療の周知を目的としたコラム広告です。病院のかたいイメージを払拭する、おもしろい内容にしたいとの要望に合わせて、インパクトあるキャッチコピーを社内複数人で考案。「膝治療の強化」を表現する「ひざknee(ニー)改革」を採用しました。(岐阜SP・波岡)



### テレビCM部門銅賞 全国健康保険協会岐阜支部

緊急性のない軽症者が診療時間外に医療機関を受診する、いわゆる「コンビニ受診」の防止を目的とした啓発動画。佐藤秀峰の人気コミック『ブラックジャックによろしく』とコラボし、作品に登場するキャラクターを生かした構成で制作しました。(名古屋SP・山口)



## CMSに贈る『THE 四六八 VOICES』



昨年7月1日に中広グループとして一体となった株式会社CMSの全従業員から届いた、振り返りメッセージ「the 83 voices」。CMSの83人、一人ひとりからの熱く、そして苦境を乗り越えての深い言葉に、感動をおぼえた従業員は多かったと思います。そんな83の声にこたえるように、中広グループからもメッセージを届けました。題して「THE 四六八 VOICES」。468人が思い思いの言葉を綴りました。互いに切磋琢磨し、グループの発展により努める。熱く交わした信頼関係がより深まる出来事でした。(管理本部・後藤)

## 長浜市立虎姫学園より8年生の職場体験学習の受け入れ

6月27日～29日の3日間にわたって、長浜市立虎姫学園の8年生2人の職場体験学習を受け入れました。1日目は編集室にて仕事の概要説明やキャッチコピーを考えるワークを行った後、虎姫学園を紹介する記事をどのようなものにするかを議論。取材準備やアポどりを行いました。2日目は虎姫学園で実際に学生や先生、校長先生を取材し、撮影をしました。3日目は取材内容をまとめ、パソコンを使ってテキスト作成や写真選定を実施。最終的な仕上げは編集室で対応し、完成した紹介記事を『ぼてじゃこ倶楽部』8月号に掲載予定です。終始、まじめに取り組む学生たちが職場体験を終えて、「楽しい」と話してくれたことが印象的でした。(ぼてじゃこ倶楽部編集室・河嶋)



## 中学1・2年生に伝える「働く」ということ

各務原市立緑陽中学校から、地元企業が仕事・働くことについて講話する授業にお声がけいただきました。中広や「たんとんくらぶ」の紹介、そして情報誌を作る仕事について、地域の魅力を発信するためのポイントをおさえながら進行。当日は「たんとんくらぶ」を手にとって見てもらいながら、どんな点にこだわって誌面を作っているか伝えました。とても興味をもって情報誌を見てくれる表情が印象的でした。今回の講話で、中学生が将来どんなふうに働きたいかイメージをもってもらえたらうれしいです。(たんとんくらぶ編集室・佐藤)



## 『からっと倶楽部』編集室



▲「からっと倶楽部」編集室スタッフ

三重県で一番南の東紀州エリアにある、「からっと」編集室。このエリアは高齢化が進んでおり、店舗や企業が年々、減少傾向にあります。それでも地域の皆さんや社内のサポートに支えられ、今年の7月号で無事10周年を迎えることができました。

7月号では10周年を記念して巻頭特集で「情報誌づくりに込めた思い」や「感謝の気持ち」を読者の皆さんに届けました。さらに、創刊当時からご掲載があるクライアントからは、我々へのお祝いの言葉と今後の「からっと倶楽部」への期待の声を頂戴しました。普段はなかなかお聞きできない、たくさんのうれしい言葉が溢れ、記事に収まりきれないほどでした。

この周年をきっかけに、今まで以上に「地域の期待に応えたい」という気持ちが強くなりました。まだまだ未熟な「からっと倶楽部」編集室ですが、その期待を裏切らないよう、より多くの、そして楽しく新しい情報を今後もお届けできるよう取り組んでまいります。

(からっと倶楽部編集室・濱野)

## 編集後記

この夏、日本の各地に「〇年ぶりの開催」という祭りが帰ってきました。各地で打ちあがる花火や、神輿に熱狂する人々の活気に胸が躍ります。地域での経済活動も復活し、街に笑顔が戻りました。

情報誌へもたくさんのお問い合わせが寄せられるようになったとお伝えした先月号。今月もその勢いは衰えることがなく、このままいけば今年の忘新年会シーズンは日本中で大きな「祭」になる予感がして、ワクワクしています。編集室では、幹事のみなさんがお店選びを始める秋に向け、地元の人が地元のお店に足を運ぶ、その起因となるような仕掛けづくりをはじめ、読者のみなさんに喜んでいただけるお得情報をもっともっとお届けできるよう、準備に動んでいます。

『地域みっちゃく生活情報誌』が贈る、今年を締めくくるにふさわしい“祭”をお楽しみに♪

(広報・PR室 岡本)



# 過去に掲載された28,889件の原稿が示す 秋から読者人気を伸ばした業種とは

2022年6月号から12月号に『地域みっちゃん生活情報誌』で掲載があった28,889件の原稿を、業種別で1広告あたりのQR読取平均回数を調査しました。もっとも読取回数の多い号を100%とし、他月がどれくらいの割合で読み取られているかをグラフ化。秋から人気を伸ばした業種を把握しました。

## スイーツ系グルメ業種

全ジャンルでもっとも読者人気を集めるスイーツ系ですが、パン&カフェ・和菓子・洋菓子共に7月号で人気を高めてから落ち着きを見せ、10月号で夏以上の年間ピークを迎えます。スイーツ業界の秋商材は一般的に夏に比べて在庫の持ちちがよいこともあり、広告効果がより長く続くため、これから好機といえます。



## ヘアサロン業種

月1回以上のヘアサロン利用が多いため、美容室は季節変動がほぼありません。それに対して理容室はシニア層もしくは子どもの利用が多いため、七五三の時期である11月に集中する傾向があります。



## エステ・整体系業種

エステサロン・整体系系に同じ反響曲線ですが、エステと整体では利用の理由が異なります。エステでは、夏は美容目的のため脱毛や痩身メニューに人気が集まり、秋は癒し目的が多く空間PR等が有効です。整体系では、夏は酷暑による体調の調整が目的、秋は通いやすくなったところの夏後・冬前のメンテナンスが目的であることが多いです。



## 学習塾・おけいこ

学習塾は受験対策の冬期講習目的が最大の注目時期。冬期講習は受験結果に直接影響し合格校や合格率がそのまま春の入塾促進広告となるため、塾にとって来期に向けての広告計画がより重要となります。



おけいこの分野では、大人の習い事がこの時期に動きを見せると読者アンケートから分かっています。春に需要が高まる子どもとは

反対に、大人(読者自身)は「通いやすい季節になった」「子どもの夏休みが終わった」という2つの理由で始める層が多いと考えられます。フィットネスや資格取得などの業種は特にフリー広告がおすすり。

## ハウジング業種

8月号から右肩上がりに読取数が増えていき、11月号をピークに12月号で急落。これは情報誌内でのハウジングイベント広告の数と比例の関係にあります。夏休み時期は酷暑でもハウジングイベントが開催されますが、秋がもっとも気軽に参加しやすく興味をもたれやすくなっています。地域によりますが、全国平均で12月は冬番となるため動きが急速に弱まります。



## コインランドリー

コインランドリーの需要は夏より秋に伸びます。データからは外れていますが、降水量に比例して6月も需要が高くなっています。洗濯物の回転が早い夏から台風が発生する時期まで、9月、10月、11月とおよそ3カ月、安定的に利用度の高い時期が続きます。



地域で生活する全世代の読者へ、地元のすべての業種の情報をお届けするのが『地域みっちゃん生活情報誌』の特長です。しかし季節的に需要が高い情報を選択し集中させることで、より生活の役に立てるであろうと、季節変動需要を解析しています。天候や地域の風土の違いはあるものの、膨大な原稿データが示すグラフには日本の文化や習慣に基づいた共通認識が見えます。これらを踏まえ、より地域に根差した情報誌を目指します。

会社概要 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)  
東証・名証 証券コード【2139】  
創業 1978年  
資本金 4億430万円  
従業員 437名 グループ全体 558名 (2023年7月末現在)

事業内容 フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業  
セールスプロモーション事業 通信販売事業  
クロスメディア事業 VC事業(ボランティア・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)  
社是 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)  
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

グループ会社 株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp  
株式会社ケイ・クリエイト http://www.k-create.co.jp  
株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp



## 第46期 基本方針

スローガン ABCX テーマ 不易流行

オフィシャル運営サイト ●中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●暇促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント ●Facebook ●YouTube ●Instagram ●Twitter リンク集はこちら

加盟団体 ●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

## 営業拠点

<p>■ <b>本社</b> 岐阜本社 岐阜市東興町27</p> <p>■ <b>名古屋本社</b> 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ <b>FM・SP事業部</b></p> <p>《北海道》 SORA編集部 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>《宮城県》 とみす!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎] TEL.027-353-8714 [前橋北西版] TEL.027-353-8711 [前橋南東版] TEL.027-353-8713</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p> <p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集部 久喜市大宮中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>《福井県》 ほろんくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!] TEL.0584-75-1960 [mintoup] TEL.0584-77-4088 [はしまる] TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんどんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-8066</p> <p>きらくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おひべくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせくらぶ編集部 土岐市泉西川町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>	<p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p> <p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集部 [中村・中川・港区版] 名古屋市巾着区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ・北知多フリモ編集部 名古屋区緑区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p> <p>守山フリモ アサヒセット・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷4原町3-53 2F [守山フリモ] TEL.0561-42-5799 [アサヒセット] TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ] TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知県東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ] TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ] TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ] TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ編集部 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リブル倶楽部編集部 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ・西尾フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>《三重県》 ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p> <p>Bellve club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集部 四日市市鶏の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴ〜編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リーヴクラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセクラブ編集部 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集部 尾鷲市坂城西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市鶏の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>《滋賀県》 ほてじゃ倶楽部編集部 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんぎくらぶ編集部 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウテッククラブ・甲賀フリモ編集部 近江八幡市松宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p>	<p>湖南フリモ編集部 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>びわこ編集部 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かしらくらぶ編集部 橿原市葛本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいなが編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《福岡県》 マイタウン西区版編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-6250</p> <p>むなふ・おるね編集部 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ] TEL.0940-72-6101 [おるね] TEL.0940-72-6102</p> <p>福岡SP部 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-383-7581</p> <p>《佐賀県》 月刊TOSS編集部 鳥栖市藤木町2456 1F TEL.0942-50-9619</p>	<p>■ <b>VC事業部</b> 岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325</p> <p>■ <b>グループ戦略統括事業部</b> 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>■ <b>管理本部</b> 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課] TEL.058-246-0285</p> <p>■ <b>グループ会社</b> 株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中央区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧8 125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
---	---	--	--	--	---

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃん生活情報誌®

## 10月号(秋)は空間PRも◎

気温が下がる秋は、「快適な空間でゆっくり時間を過ごせる」という訴求も有効です。結果、落ち着いた雰囲気の内装や併設ライブラリなど空間のメイン写真にも注目が集まります。

●秋に有効な広告

- ◎秋の新商品写真
- △食べ歩き向け商品写真
- ◎店内空間



## 食事系グルメ業種

ラーメン・麺などの一品系、和洋中の定食系を比較したところ、ほぼ同じ曲線で10月号でピークを迎えました。秋の食材はビジュアルが映えるものが多く、さらに残暑がおさまり出かけやすくなって外食頻度が増えることが理由と考えられます。「食欲の秋」のイメージが浸透していることも大きく影響しています。

7月号でこの反響! さらなるUPが期待できる!?

QRコード読取回数  
1万部あたり 10日合計  
48.7回 293回